

令和2年度 5月の補導活動

佐久市少年センター

- | | | |
|---|----------|------|
| 1 | 街頭補導実施回数 | 18回 |
| 2 | 従事補導委員数 | 42人 |
| 3 | 相談件数 | 0件 |
| 4 | 補導した少年数 | 0人 |
| 5 | 声かけ人数 | 273人 |



5月の補導日誌から

5月1日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 平賀の水門近くの公園、平賀神社、田口児童館、五稜郭公園、青沼児童館
補導の様子

「平賀の水門近くの公園で中学生らしい子が遊んでいる。巡回してはどうか」という地域の方からの電話でのご意見を受けて、最初の巡回地にした。公園のはっきりした場所はわからなかったが、ほぼこの場所だという河川沿いのこぢんまりした公園を見つけた。鉄棒、シーソー、滑り台、ブランコが設置してあったが、誰もいなかった。平賀神社の近くで、孫を遊ばせていた女性から話を伺った。田口児童館では3名、青沼児童館では4名の児童が利用していた。館内まで案内していただいた。書籍などが整理整頓されていて、利用しやすい環境が保たれていると感じた。

5月7日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 望月・浅科方面の公園、神社、コンビニ、カラオケ店等
補導の様子

望月・浅科地区を重点に街頭補導を実施した。浅科地区で下校途中の男子中学生に声かけ、本人は「中3。午前と午後に分けて、クラス別に分散登校。」とのこと。中学生は「今やらなければいけないことをしっかりやって頑張ります。」と高校受験に向けての気持ちを素直に答えてくれた。立ち寄ったカラオケ店のオーナーは、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため営業の自粛をしていたが、本日から営業。来客はない。」とのこと。公園や神社に子どもの姿はなかった。

5月8日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 佐久市東部地区の児童館及び公園、映画館、ゲームコーナー等
補導の様子

佐久東児童館、平根児童館、それぞれ5人、8人の利用児童がいるとのことであり、弁当持参で宿題と運動、遊び等で適宜に過ごしていた。その後、小田井児童館を訪問した。戸外で彼らの創意工夫によって遊んでいる姿があり、温かい視線で見守っている職員の様子が印象的であった。各児童館職員によれば、本日は学校によって分散登校日・休校日とまちまちであったようであるが、児童館の子どもは皆元気の様子。仙祿湖公園や他の2公園では人影はほとんど見なかった。アミューズメント施設では映画館、遊技場、ゲームコーナーは開店していたが、

客は些少とのこと。感染防止に国、県の指示に従って適切に営業をしていると説明していただいた。

5月11日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 市内の4児童館訪問 等

補導の様子

高瀬、中佐都、岸野、泉の4児童館を訪問した。多寡はあるが、児童館で遊びや学習をしている小学生（主に低学年）は、有意義な時間を過ごしていた。中佐都は1年生のみ急増とのこと。岸野では児童館で絵を描いていた小1女兒が目を見張る能力を見せて、プレゼントも頂戴した。泉では元気な男子が懸命に掃除をしていた。あいさつも良く、礼儀と人との関係を学んでいる様子を感じられた。泉団地内の道路では小学生10人程が自転車やスケートボードで遊んでおり、声かけには爽やかな返答があった。



5月12日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 野沢児童館、鍛冶屋公園、臼田児童館、下の宮児童公園、菖蒲平農村公園、

臼田総合運動公園管理センター、下越児童館、臼田駅、あいとぴあ臼田

補導の様子

野沢児童館では、今日は20名の児童が利用していた。児童館の方から来週から学校の分散登校が始まることや利用児童の様子などのお話を伺うことができた。鍛冶屋公園では、親子4名の姿を見かけた。臼田児童館利用の11名の児童は、ピアノを弾いたりブロックでものづくりをしたり、思い思いに遊んでいる様子が見られた。一人泣きじゃくっている子に丁寧に対応している児童館の職員の姿に感心した。下の宮児童公園、菖蒲平農村公園、下越児童館の利用者はいなかった。下越児童館では、いつ児童が来てもいいように遊具などの消毒を行うなど準備を進めていた。臼田駅の駅員さんからは、最近の利用状況をお聞きすることができた。「高校生のマナーは良好」との話を聞き安心した。

5月13日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 大型スーパー（ゲームコーナー）、ミレニアムパーク、市民交流ひろば、インターネットカフェ、駒形神社、サクラさく小径公園、調整池の広場

補導の様子

大型スーパーの専門店やレストランは一部開店し、ゲームコーナーも本日から再開。コーナーでは10名程の子どもや大人が遊んでいた。小学生は保護者同伴でした。ゲーム機には『密』を回避する工夫が配慮されている。ミレニアムパークではバスケット、スケボーに約10名が興じていたが全員ノーマスク状態。市民交流ひろばでは幼児が保護者とともに夕刻の触れ合いを楽しむ姿が見られた。インターネットカフェを訪問したが、休業中の張り紙があり、現状を理解した。駒形神社の広場は整備が行き届き、重要文化財としての存在感を保持していた。サクラさく小径公園では駐車場は満杯。調整池の広場では保護者と幼児が遊んでいた。

5月14日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 小田井児童館、公園（曾根公園・近津南公園・十二川原公園・庄ノ上公園）

補導の様子

小田井児童館の利用児童は、本日6名、うち3名はすでに退館、訪問時3名の児童がモップで館内の掃除をやっていた。曾根・近津南・十二川原の3公園には人影なし。庄ノ上公園には、女子児童数名がブランコで遊んでいた。女兒に声かけたほか、公園隣地の方にお話を聞くと「近くに住む小学生が遊びに来ている。自分たちでブランコを作ったりして遊んでいます。」とのこと。移動時、自宅前で遊んでいた小学生とその両親に話しかけた。母親は「子どもと一緒にいられる時は、出来るだけ触れ合うようにしています。」と。感染症によるマイナスを逆手に親子の触れ合いを持とうとしている親子に心で拍手した。

5月15日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 中込中 → 成知公園 → 臼田中 → 野沢中 → 浅科中 →
望月中 → 浅間中 → 佐久長聖中 → 佐久東児童館 → 佐久東中

補導の様子

市内各中学校に配りものをする傍ら校長先生や教頭先生、一般の職員の方からお話を伺った。どの中学校でも分散登校しながら授業を進めているとのこと。また、5月18日の週には給食も始まり6時間目まで授業をする予定で、各学校の実情に応じて『三密』を避けながら工夫して平常授業に戻していくことを考えている。ただ、グループ学習や合唱等、制限される事柄が多く新しい生活様式に合わせた学校生活についても考えていかなければならないため、課題も多いと語っていた。例年とは異なる対応に先生方の苦労を身近に感じた。佐久長聖中の駐車場では、中学生が保護者の迎えを待つ間、塀の上に教科書を置き勉強をしていた。話しかけると野球部に所属していると話してくれた。対応がさわやかで、こちらも気分が晴れやかになった。通りがかりの公園は、どこも人がまばらで、子どもを遊ばせる親子連れが利用しているだけであった。

5月18日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 前山 JAXA パラボラアンテナ → 泉児童館 → 中込児童館 →
カラオケ店



補導の様子

巡回途中、大河原峠付近のホテル管理会社の人から不審車両の通報を受けて急行した。視認後、管轄する南部交番に寄り、写真とともに事情を説明して過去の記録と照合をして確認していただいた。他に泉児童館を訪問した。小学校は本日から給食が再開されA・B地区グループ毎に19人登録しており、児童館も応じているとのこと。新任の当館長とは旧知の関係ゆえ暫時再会の挨拶。その後、中込児童館を訪問し、本日13人が登録して時間を過ごしたとのこと。カラオケ店では「先週、営業を再開した。人数制限して利用してもらっている。」とのこと。3台の自転車が駐輪、2台は高校の通学許可ステッカーが貼ってあり、もう1台は電動。未成年対応は適切に判断し指導しているとのこと。

5月19日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 公園（駒場・鼻顔・枇杷坂・ミレニウムパーク） → 大型スーパー

補導の様子

市内の4公園を巡回、いずれも未就学児の親子連れがいたが、小中高校生の姿はほとんどなかった。駒場公園で小学校低学年の男児2人を連れた女性に声かけ。

男児の一人は本人の子どもで、もう1人は甥（小諸市居住の妹の子）とのこと。家庭では勉強をやったり外で遊んだりしているが、テレビを見ている時間が長く心配していると話していた。大型スーパーはゲームコーナーのゲーム機の境にアクリル板が設置、フードコートの椅子は約2メートル間隔、男子トイレの小用便器4器中2器を使用禁止にしてソーシャルディスタンスの確保がなされていた。

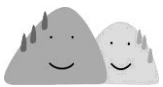
5月20日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 浅間地区店舗訪問及び公園（曾根公園、一本柳公園、宮ノ前公園、近津南公園、市民交流ひろば、ねむの木公園等）、佐久平浅間児童館

補導の様子

浅間地区の青少年健全育成協力店訪問と公園や児童館訪問を午前・午後をわけて実施した。訪問した店舗数4店。曾根公園では母と子3人が砂場遊びとキャッチボールに興じていた。一本柳、宮ノ前公園以外の公園は親子連れで遊具を使った遊びや少年たちだけでキャッチボールをしていた。ある公園では、小学校高学年の男子2人としばし楽しく共有する時間があった。長土呂地籍では自転車に乗った小・中学校男女が明るくあいさつを返してくれた。声かけには子どもたちは積極的に応じて運動によってストレスが発散出来ているように見受けられた。佐久平浅間児童館では本日、27人の児童の来館があり、訪問時は11人の児童がドッジボールで大いに楽しんでいた。職員3人が見守り支援にあたっていた。市民交流ひろばでは、5時近くになっても数組の親子が遊んでいた。ベンチにいた女子高校生2人に聞いたところ、高校も分散登校を開始したとのこと。徐々に少年たちが動き出した感がある。



5月21日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 佐太夫町公園 → 中込駅 → 横町公園 → 原公園 → 切原児童館

補導の様子

佐太夫町公園には、未就学の幼児を連れた親子が1組、横町公園には来園者はいなかった。原公園には、数名の児童が遊んでいた。その中に竹で弓を作り、麻糸を弦にした『弓矢』を持っている男児がいた。話を聞くと「動画を見て弓矢を製作した」とのこと。矢は竹製で人に当たったら大事に至る虞があったので、人に向けて撃たないこと等について指導約束した。切原児童館の本日の利用児童は3名。すでに2名が帰館し1名のみ在館。静かに読書をしていた。

5月22日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 佐久東児童館 → 鼻顔公園 → 中央公園 → 若宮公園 → 一本柳公園

補導の様子

佐久東小学校区巡回中に自転車をひいている小学生に声をかけた。小学6年生で、家の近所で友達と自転車乗りを楽しんでいるところだった。新型コロナウイルスの影響で、長い間休校だったけど小学校に少しずつ行かれるようになってうれしいと話してくれた。ヘルメットをきちんとかぶり、対応もはきはきしていた。佐久東児童館では、指導員さんが丁寧に対応してくれた。子どもたちと一緒に描いたという「妖怪アマビエ」やアニメの「鬼滅の刃」が玄関に飾ってあった。とても素晴らしい出来ばえなので、そのことを話すと学生時代にデザインの勉強をしていたとのこと。コロナが終息するまで飾っておきたいと語っていた。利用児

童は6名だった。鼻顔公園では、マレットゴルフを楽しむ人や親子連れがいたが
人出は多くなかった。他の公園も就学前の幼児を連れ数名が利用する程度だった。

5月25日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 岩村田児童館 → インターネットカフェ → あさしな児童館 → 布施温泉公園

補導の様子

本日から、学校は授業一部再開。岩村田児童館は低学年 11 名が入館。マスクを
外している子もおり、世の中の雰囲気を感じているのかも。職員からは、「1年生
の中には『学校へ登校したくない』と渋る子もいる」とのこと。入学早々の休校の
ため、不安感を抱く子がいるということを理解した。インターネットカフェは、前
回の訪問時と同様に、休業中、再開は未定の掲示があった。あさしな児童館は
19 名が入館利用した旨、館長から伺った。小学校はA・Bに分け登校し、児童
館では全員マスク着用で遊んでいたが保護者の送迎時間と重なった。途中、浅
科中学生の集団下校姿を見たが、クラブ活動はない模様。布施温泉公園は子
どもの姿は見え、…山河青く、空気澄み良き季節となった。子どもの歓声は
もう少し先になる予感がした。

5月26日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 青沼児童館 → 切原児童館 → 臼田図書館 → 高柳公園 →
鍛冶屋公園 → 原公園 → 城山公園 → 桜井公園

補導の様子

児童館 2 か所を訪問。館内で一生懸命に勉強したり読書したりして静かに過
す児童がいた半面、マスクを持参しているものの着用せず、職員の注意に従わ
ない児童がいた。児童と真剣に向き合っている職員の姿に心を打たれた。臼田
図書館は、訪問時閉館時刻を過ぎており、館内には職員がいるだけであった。
市内の公園を何か所か訪問したが、雨後のためかいずれにも来園者はいな
かった。



5月27日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 ありんこクラブ（岩村田） → 中込駅 → 横町公園 → 小海線隣接地下道
→ 成知公園 → 中込児童館 → ちびっこ元気クラブ（中込）

補導の様子

ありんこクラブは、上の城公園がフィールドになっており、岩村田小・佐久平
浅間小の子ども 7 名がスタッフ 2 名と遊具を利用したり、駆け巡っていたりして
いた。両小学校は分散登校とのこと。中込駅に移動したが、少年等の姿は見え
なかった。横町公園も同様であった。高校は分散登校である。地下道では落書等
は皆無。成知公園に移動した際、遊具付近で数組の親子約 20 名が歓声をあげ
思い思いに楽しんでいた。公園にいた大学生 2 名（3年生と新生とのこと）に
話を聞くと、授業は6月からという。中込児童館では 11 名が入館した旨、伺
った。3名が宿題をしていた。ちびっこ元気クラブではスタッフ 2 名、支援の男
性 1 名が付き添い、約 10 名の児童が内外で遊んでいた。成知公園を再度訪
問すると、運動後らしい中学生が元気よくあいさつを返してくれた。

5月28日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 佐太夫町公園 → 商店街 → 中込駅 → 横町公園 → 成田公園 →
千曲川河川敷 → 平賀新町公園 → 佐久総合運動公園 → 宇とう公園

補導の様子

商店街の空き店舗になっている2階、3階へ通じる階段を中学生が上ろうとしていたという昨日の連絡を受けて、通報者から話を聞いた。「中学1年生と思われる10人ぐらいの生徒が、自転車でやってきて、階段を上ろうとしていたところ、店長さんが注意をした」という。素直に従ったようだが、心配な行動と感じた。偶然、商店会の職員さんにお会いし、状況をお話した。職員さんからは、「空き店舗が増えているので、商店会でも気をつけているところです」とのお話を伺った。学校も来週から分散登校から徐々に平常に戻ることもあり、街で見かける小中高生は、徐々に増えてきていると感じた。各公園では、親子でバドミントン、女子中学生が友達同士で集まってブランコ、高校生の男女がベンチで会話等、日常に戻りつつある様子が見られた。

5月29日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 野の鳥公園 → 泉児童館 → 泉団地内公園 → 榛名平公園 →
ふるさとの森公園 → あさしな児童館

補導の様子

緊急事態宣言が解除されたせいもあってか、街に人通りが増え、また、県外車を見かける機会が増えたように感じた。野の鳥公園では、子どもの姿は見かけなかったが、駐車場にはかなりの車が止まっていた。泉児童館、あさしな児童館では、指導員さんから来週からの様子を伺った。学校がほぼ平常授業に戻ったとしても40人、50人が入館すると児童館では三密状態は避けられないので、引き続きやむを得ない事情がある家庭に限るという受け入れ方を継続するという。子どもたちは、体育館でボール遊びをしたり、テーブルを囲んで絵をかいたり、笑顔がたくさん見られてホッとする半面、子どもたちに社会的な距離を取るように強いる難しさを感じた。学校では組織的にできるが、児童館などに同じことを求める難しさを感じた。子どもを迎えに来た保護者は、「児童館が開いているので仕事の面などで本当に助かっています」と感謝の気持ちを表していた。



◀5月の補導を終わって。 専門補導委員▶

今月は、緊急事態宣言中であり、個人はもとより地域社会全体に緊張感が満ちていた。大人が子どもを見守る目線は様々あるが、「公園で子どもが遊んでいるので巡回を」など市民の皆様から多くの情報をいただいた。次代の日本を担う青少年の健全育成を願う市民の思いと重く受け止めて巡回を実施した。6月から今年度の通常授業が始まる。子どもたちの心に、コロナ禍から学ぶ新たな成長の萌芽が見られたら幸いである。

今後の活動予定

- (1) 各地区補導委員の「街頭補導活動」は、7月1日から再開の予定です。
- (2) 七夕祭り(7/4)、岩村田祇園(7/18)、野沢祇園(7/25)、浅科どんどん祭り(8/14)、榊まつり(8/15)は中止。街頭啓発活動(7/1)白田よいやさ(8/1)は現在のところ、実施・中止について未定のようです。
- (3) 7～8月の夜間巡回(浅間地区)は実施の予定です。〔別紙(日程表)参照〕